

関東蘭岳会 交流会報告

2024.05.11

報告者 関東蘭岳会 辰尾

関東蘭岳会の初めての交流会を高尾山散策として令和6年5月11日(土)に実施しました。参加者はガイドの私を含めて4名でしたが、今回はもう少し参加者が増えるように工夫しようと思います。この日は晴天で土曜の休日とあって、朝から高尾山口駅周辺はたくさんの人で賑わっていました。気温が夏日の予報だったので熱中症を警戒してケーブルカーに乗ることにして、ケーブル山頂駅から4号路に入り山頂を目指しました。4号路は細い山道で片側は谷になっていて慎重に歩く必要のある山道ですが、途中、木道や木の階段が整備されていて歩きやすい道でした。歩く道すがらモミジイチゴ(木苺)やマルバウツギの白い花を観て、シャガの花の群

落も観たりしながらちょうどお昼頃に山頂に到着しました。山頂からは富士山がとてもきれいに見えたのが印象的でした。



山頂は込み合っていて座る場所もないので、富士山が良く見える穴場と言われている「もみじ台」まで行ってお昼ご飯にしようと目論みましたがそこも一杯で仕方なく柵の丸太杭に腰かけてお昼を済ませました。あまり太くない丸太杭でしたので長時間は無理ですが、お昼の御弁当を食べる時間くらいは腰かけて充分休むことが出来ました。

少し休んでから同じ4号路を降りてきました。メイン通りの1号路は3~4人が横になって歩いても、すれ違ったり追い越したりできる道幅がありますが、4号路は1人ずつすれ違うのがやっとの狭い道で、吊り橋もある山道です。すれ違う時にはお互いに「こんにちは」と声を掛け合ってすれ違っていたので、1号路には無い山登りの雰囲気を感じることが出来ました。そして帰りは、ケーブル山頂駅から少し離れたリフト乗り場に行き、リフトで山を下りてきました。晴れ渡った青空にそよ風を感じながら眼下には高尾の街並みを観ながらゆっくりと降りて来て、その爽快感に山歩きの疲れも吹き飛んでしまいました。

清滝ケーブル駅に到着して、これで関東蘭岳会交流会の当初予定は終了しましたが、最後に高尾山口駅に向かう途中のそば屋によって美味しいビールと学生の頃の思い出話などで盛り上がり、とても楽しい交流会の締めとなりました。



シャガ

植物の葉は表と裏があって、表は光合成に適応した構造になっています。裏は一面に細かい気孔があり水分の蒸散や気体の出入りが行われます。シャガの葉は「単面葉」と言ってどちらの面も葉の裏側の性質しか持っていませんので、どちらも裏面になります。しかし、陰葉緑体を持っていて光合成もしている不思議な植物です。